

5. 試験ヤード

(1) 試験条件

本試験は以下を条件として考えるものとする。

①試験場所は天端部分

波のうちあげ高を考え天端部分での実施とする。

②基盤は近隣の海浜砂、購入砂を使用する。

基盤は現地近隣の海浜砂を使用する。また、近隣の海浜砂が本設時に供給量・供給時期等の問題により使用できないことを考慮して、購入砂による試験も併せて実施する。

ただし、近隣の海浜砂については、事前に土壌分析を実施し、安全が確認されたものを使用することとしているため、分析結果によっては近隣の海浜砂による試験は実施できない場合がある。

③H18年度完成部では試験枠を設置する。

基盤が散乱しないよう以下のような試験枠を設置して試験を行うものとする。

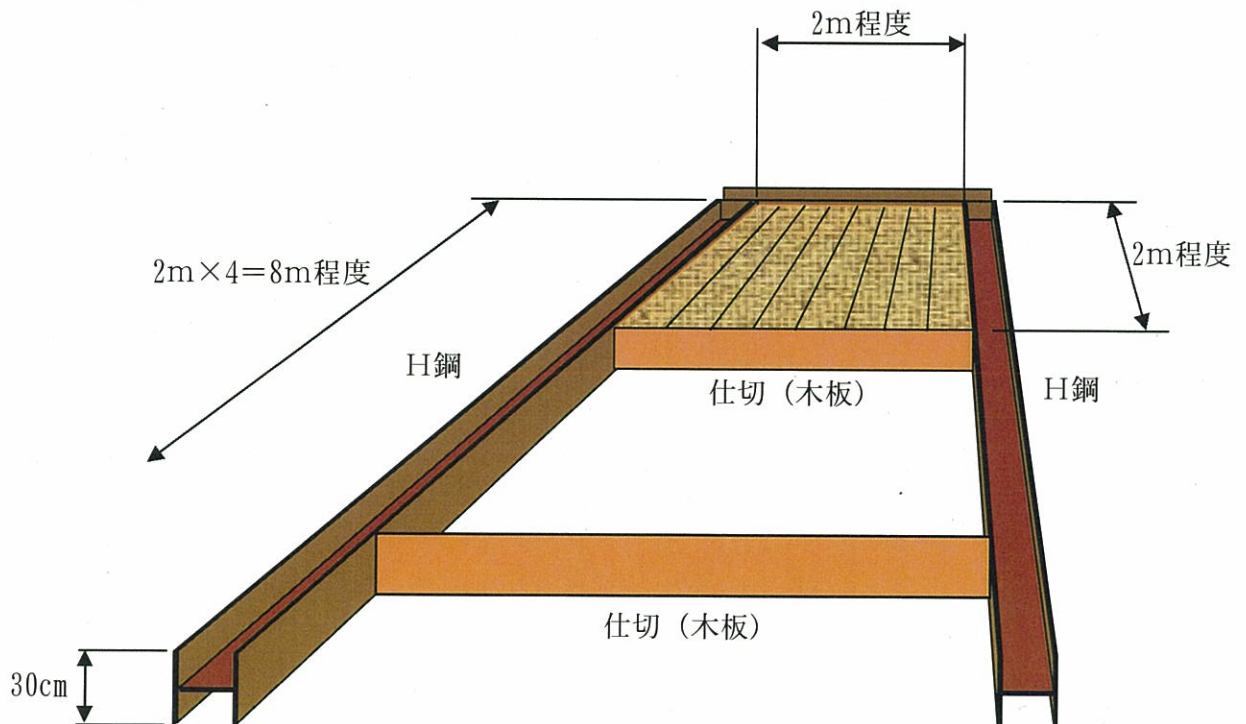


図5-1. H18年度完成部での試験枠の概況図

(2) 試験断面構造

① H18年度完成部

- ・ 植物繊維シート袋の基盤による断面計画
- ・ 基盤の保水性を高めるために不透水性シートを敷設する。

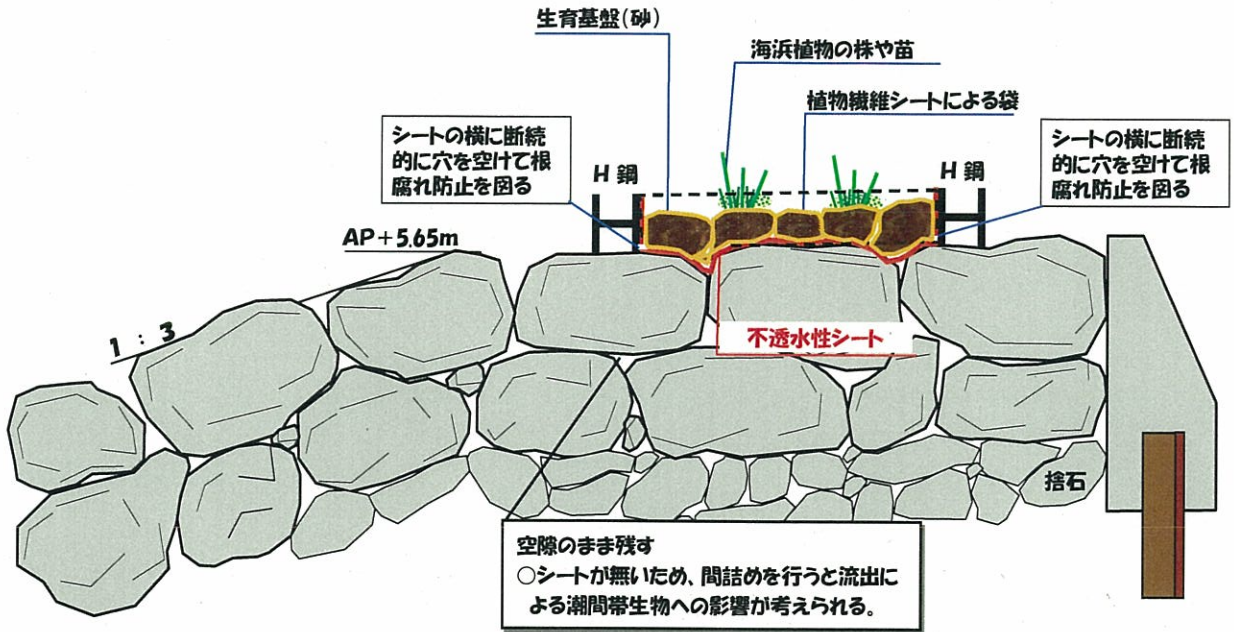


図5-2. 基本構造

② H20年度予定部

- ・ 砂の間詰めでの基盤による断面計画
- ・ 水締めによる砂の中詰めが行えるようシートは透水性シートを敷設する。

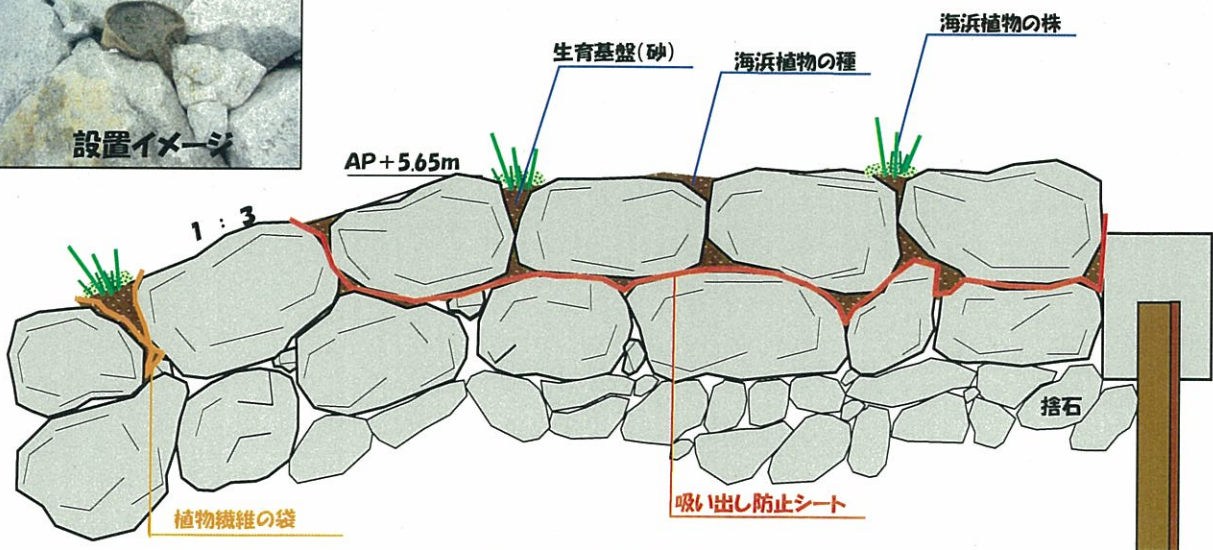


図5-3. 基本構造